News Release

2026年11月20日

各位

株式会社イオレ

イオレ、ソフトバンク株式会社とAIデータセンター・GPU計算資源の相互販売に向けた業務連携を開始

第一弾として、ソフトバンクの「AIデータセンター GPUサーバー」および
「Cloud PF Type A」の再販を本日より開始、
最新世代GPUの計算資源を、単体サーバーから大規模クラスターまで提供

株式会社イオレ（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：瀧野 諭吾、以下イオレ）は、ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮川潤一、以下「ソフトバンク」）と、両社が保有・運営・管理するAIデータセンターおよびGPU計算資源を相互に販売する業務連携について合意しました。その第一弾として、ソフトバンクが提供する「AIデータセンター GPUサーバー」および「Cloud PF Type A」の利用権の販売に関する取引基本契約（以下「本契約」）を締結し、本日より、「AIデータセンター GPUサーバー」および「Cloud PF Type A」の再販の利用権を国内外の法人・事業者および販売代理店への販売を開始します。



■ 業務連携の背景

生成AIおよびAIエージェントの急速な普及に伴い、AIモデルの学習・推論に必要となるGPU計算資源への需要は世界的に拡大しています。一方、AI計算基盤の整備には、GPUサーバーの確保だけ

でなく、大規模な電力、データセンター設備、冷却設備、高速ネットワーク、運用体制などを一体として構築する必要があり、顧客が必要とする計算資源を、必要な場所・規模・期間で迅速に確保することは容易ではありません。

イオレは、電力、データセンター、冷却、ネットワーク、GPU、運用基盤までを統合した「AI計算力」の提供を事業の中核に据え、イオレは戦略的パートナーであるデジタルダイナミック株式会社と連携し、GPUサーバーの調達・販売から国内データセンターへの配備、AI計算力の提供へと事業領域を広げるとともに、国内各地でAIデータセンターの開発を進めてきました。

本連携により、自社の設備投資に加えてソフトバンクのAI計算基盤を含めることで、より大規模で多様なAI計算需要に応えることが可能です。同時に、イオレが保有・マネージするGPUおよびデータセンターについても、ソフトバンクの顧客基盤を通じて販売機会を広げ、設備稼働率と計算資源の販売効率の向上を図ります。

イオレは、本連携により両社のAIインフラを単純に相互販売するだけでなく、異なる事業者が保有するGPU計算資源を横断的に流通させる「AI計算力の流通基盤」の構築することを通じて、ネオクラウド事業化に向けたAI計算力提供事業を拡大していきます。

■ 業務連携の概要

本連携では、主に以下の取り組みを推進します。

- ソフトバンクが提供するデータセンターおよびGPU計算資源の、イオレの顧客に対する販売・提案（第一弾として本日開始）
- イオレが保有・運営・マネージするデータセンターおよびGPU計算資源の、ソフトバンクの顧客に対する販売・提案
- 大規模GPUクラスターや専有型AI計算環境など、顧客ニーズに応じた共同提案
- 両社のAI計算基盤を組み合わせた、複数拠点・複数GPU環境からなる計算資源の提供体制の構築
- 将来的なAIデータセンター、GPUクラウドおよび関連サービスにおける協業の検討

これにより、顧客に提供できるGPUの種類・規模・ロケーション・提供期間の選択肢が広がります。単体のGPUサーバーから大規模GPUクラスター・専有型の計算環境まで、最新世代のGPUに加え、今後投入される次世代GPUも見据えて、顧客の計画に合わせた計算資源を提供します。

■ ソフトバンクの「AIデータセンター GPUサーバー」および「Cloud PF Type A」の利用権限販売の概要

サービス名称	「AIデータセンター GPUサーバー」「Cloud PF Type A」

内容	「AIデータセンターGPUサーバー」は「NVIDIA DGX A100」、「NVIDIA DGX H100 」GPUに企業向けに最適化されたAIソフトウェアプラットフォーム「NVIDIA AI Enterprise」に加え、計算処理やリソース管理を担うジョブスケジューラー「Slurm」をセットアップしてご提供します。 「Cloud PF Type A」は、ソブリン性を備えたクラウドサービスです。サービスの一部として、NVIDIA HGX B200」を採用した高性能GPUサーバーを提供することで、データ主権や機密性を担保しながら、企業独自のAI学習を迅速に行うことが可能です。
特長	【「AIデータセンター GPUサーバー」の特長】 • **GPUサーバーを専有して利用可能**：1台から複数台まで広帯域クラスター構成で専有提供。Lustreファイルシステム+NVMeによる高速ストレージ（100GB単位、1PB超の大容量も対応）。 • **スポット利用で柔軟な契約が可能**：最短7日から、計算力のご利用ニーズに合わせて柔軟な利用が可能。ソフトバンクのVPNサービス「SmartVPN」による閉域接続オプションも提供。 • **開発を支援するソフトウェア環境を標準付帯**：NVIDIA AI Enterprise（50超のAIフレームワーク+事前学習済みモデル）、Slurmジョブスケジューラー、NGC Private Container Registryをセットアップ済みで提供。契約後すぐに計算処理を開始可能。 【「Cloud PF Type A」の特長】 • **国内2リージョンで高可用性とBCP対応**：東日本・西日本の2リージョン体制により、国内でシステムやデータを分散配置できます。リージョン間の冗長構成により可用性を高め、災害や障害発生時の事業継続（BCP）や災害復旧（DR）に対応します。 • **OCI技術を活用した豊富なクラウドサービス**：

	「Oracle Alloy」を採用し、OCIの技術を活用したIaaSやPaaSなど、多様なクラウドサービスを提供します。「Autonomous AI Database」などの利用や、既存のOracle Databaseを活用したシステムのクラウド移行も支援します。 • **多様なAIワークロードに対応**：「NVIDIA HGX B200」を搭載した高性能GPUサーバーを提供し、生成AIなど多様なAIワークロードに対応します。国産生成AI「Sarashina」をはじめ、ソフトバンクのAI関連サービスも利用できます。 • **ソフトバンクによる国内運用・サポート**：ソフトバンクの「MSPサービス」、「OnePort」、「SmartVPN」と組み合わせ、オンプレミスからの円滑なクラウド移行を支援します。また、マルチクラウド環境での安全な接続から運用までトータルでサポートします。
主な提供先	LLMの学習・推論、AIエージェント開発など、大規模なAI基盤を必要とする国内外の企業
提供GPUの拠点	非公開（いずれも国内）
購入申し込み・ 販売に関する問い合わせ	担当：田村 問い合わせ先：https://ai-infra.eole.co.jp/#contac

■ 今後の展望

イオレは今後、国内各地で進めるAIデータセンター開発とGPU計算基盤の拡充を進めるとともに、自社保有設備だけに閉じない形で、国内外のデータセンター事業者、通信事業者、GPUクラウド事業者などとの連携を広げ、需要に応じて最適な計算環境を提供できる仕組みを構築します。

ソフトバンクとは、イオレの計算資源をソフトバンクの顧客へ販売する取り組みについても協議を進め、共同提案や大規模GPUクラスターの提供体制の構築を目指します。AI時代の基幹インフラとなる計算資源を国内に確保し、効率的に流通させることで、海外サービスへの依存に伴う「デジタル赤字」の縮小と、国内AI産業の競争力向上に貢献してまいります。

GPU計算資源の利用をご検討の企業さまは、規模や時期、ご利用形態を問わず、以下よりお問い合わせください。

会社名	株式会社イオレ
本社所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル 4F
代表者	代表取締役社長 兼 CEO　瀧野 諭吾
設立	2001年4月25日
資本金	27億6,295万円 ※2026年3月31日時点
従業員数	83名 ※2026年3月31日時点
上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：2334）
事業内容	・AIインフラストラクチャー事業 - GPUサーバ販売 - AIデータセンター開発・開発支援・投資 -ネオクラウド事業 ・AIUI事業 - HR Tech - Ad Tech - 次世代AIメディア など ・オンチェーン金融事業 - 暗号資産の保有、運用、決済サービス等の金融基盤提供
URL	https://www.eole.co.jp/

本件に関するお問合せ
株式会社イオレ　Tel: 050-5799-9400　Mail:press@eole.co.jp

他社登録商標・商標等、記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。